
2012年度派遣スタッフWEBアンケート結果 (確報)

(一社) 日本人材派遣協会

【調査概要】

実施期間 : 平成24年10月1日～12月31日

調査対象 : 現在派遣で働いている方、及び派遣で働いた経験のある方

告知方法 : 会員企業からの派遣スタッフへの依頼、協会WEBサイトおよび各種メールマガジン等

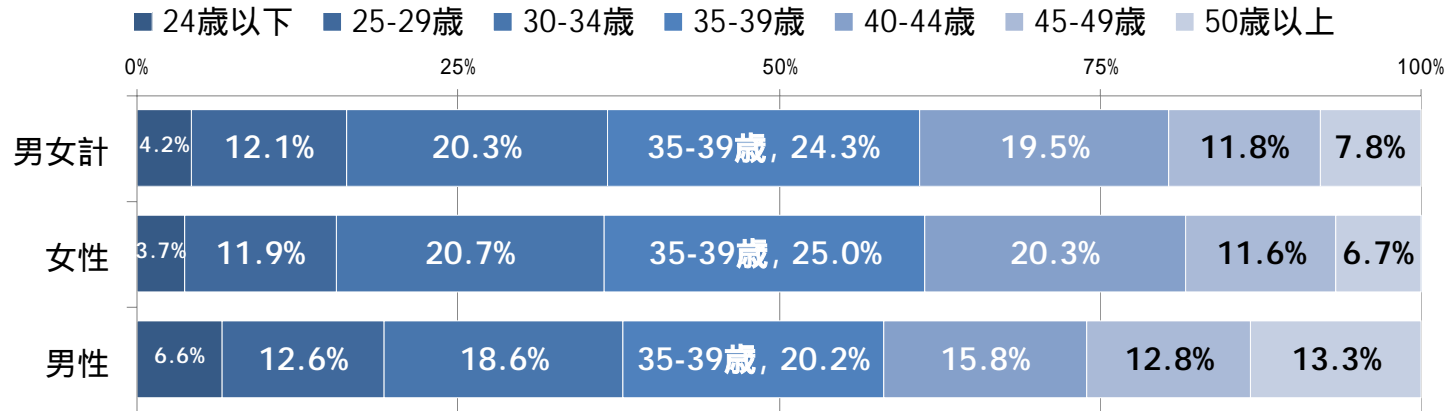
実施方法 : 協会WEBサイト上のアンケートページに直接入力し、WEB送信により回答

回答総数 : 10,017名

回答者属性

- 女性84.5%、男性15.5% 35-39歳が男女共に最も多い（女性25.0%、男性20.2%）
- 「主たる家計の担い手」は43.6% その過半数は未婚単身女性
- 子供がいるスタッフは、女性23.0%、男性37.1% 介護をしているスタッフは、女性6.9%、男性20.2%
- 労働・社会保険加入率は 雇用保険81.7%、健康保険94.4%、公的年金87.0%
- 現在の主な業務はオフィス系事務が66.4%

男女別年齢層の内訳



Q.家計の主な担い手ですか？

はい 43.6%

未婚単身女性	53.1%
未婚家族同居女性	12.2%
未婚単身男性	12.1%
既婚女性	11.7%
既婚男性	7.4%
未婚家族同居男性	3.5%

いいえ 56.4%

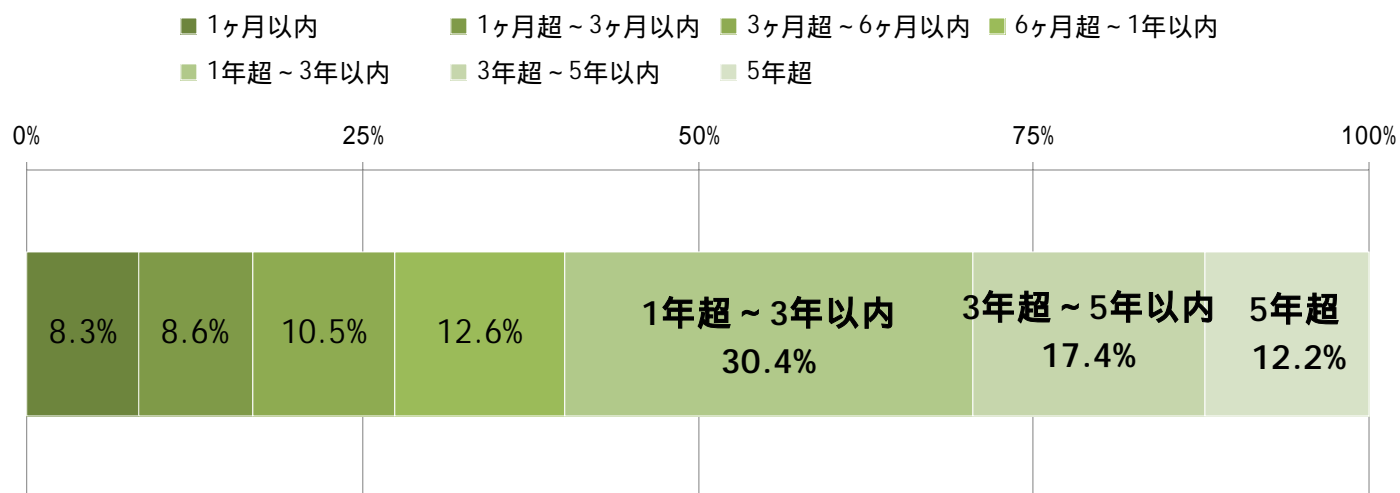
既婚女性	49.2%
未婚家族同居女性	20.7%
未婚単身女性	20.4%
未婚単身男性	4.4%
未婚家族同居男性	3.6%
既婚男性	1.7%

契約期間

□ 現在の就業先における通算就業期間

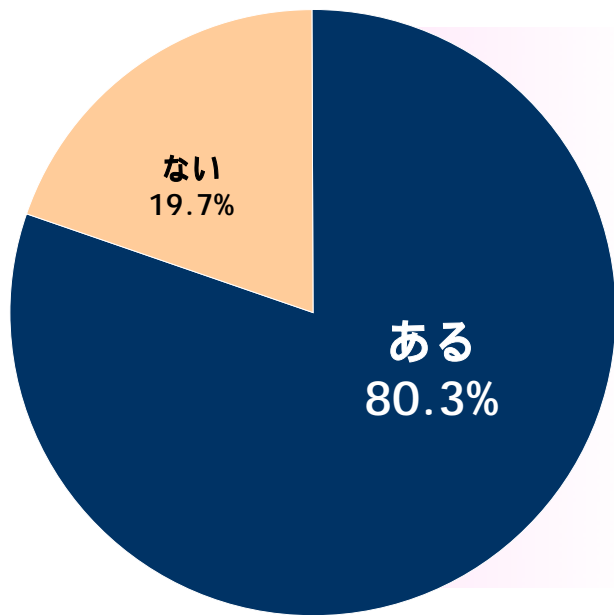
平均 29.2ヶ月

3年以内 70.4% / 5年以内 87.8%

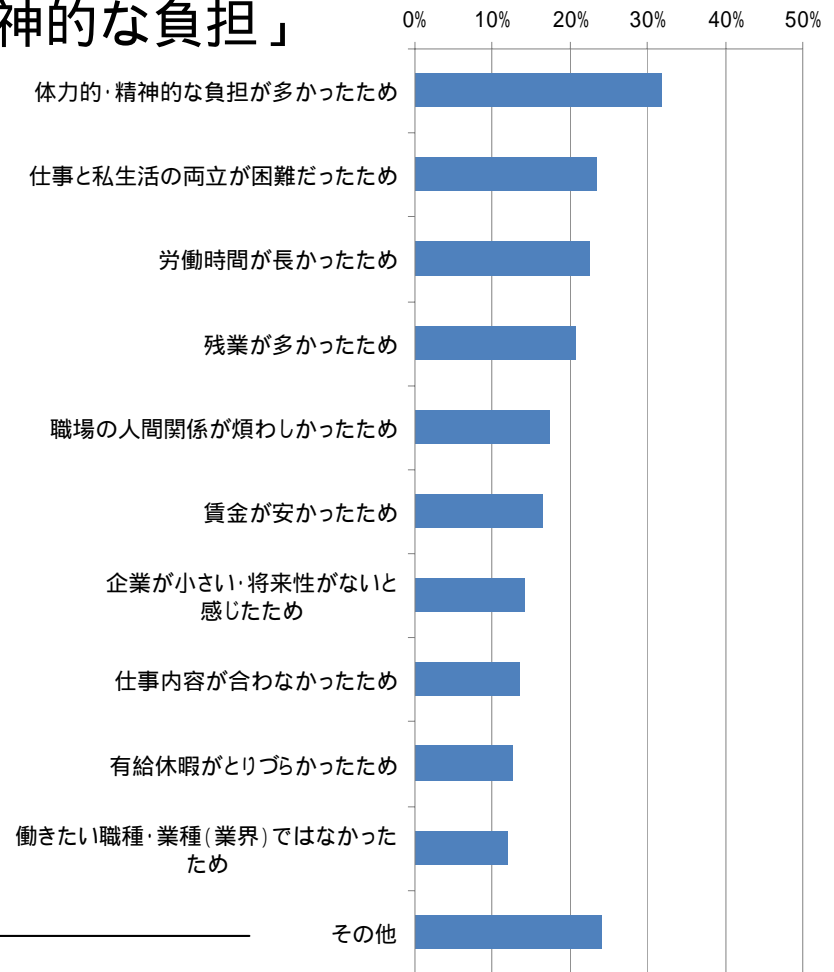


正社員就業経験

- 派遣スタッフの8割が正社員就業経験がある。
- 正社員を辞めた理由は「体力的精神的な負担」



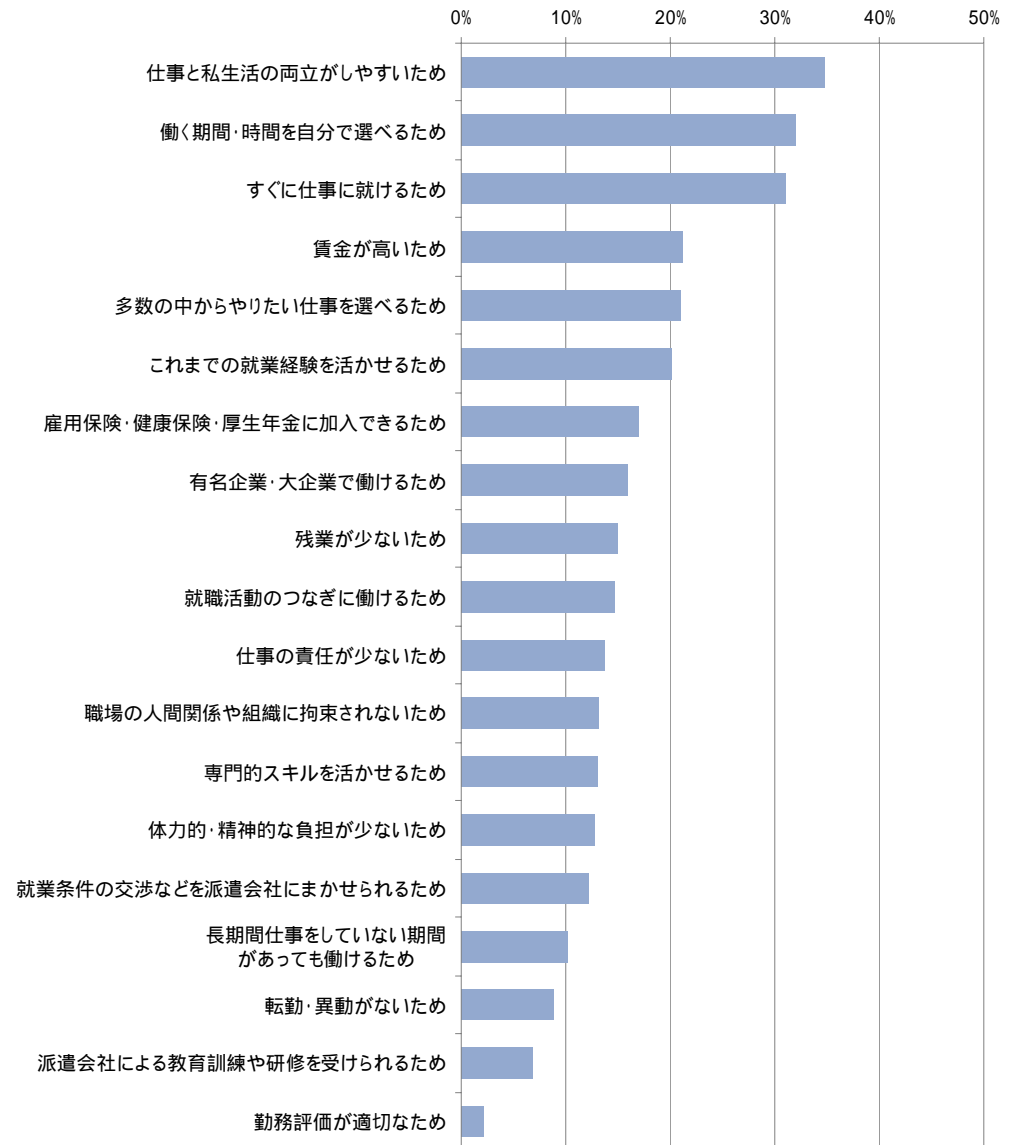
辞めた理由
(上位10項目)



「その他」の内容で多いもの
「リストラ」・「倒産」・「解雇」・・・ (309)
「結婚のため」・「寿退社」・・・ (234)
「いじめ」・「セクハラ」・「パワハラ」(61)

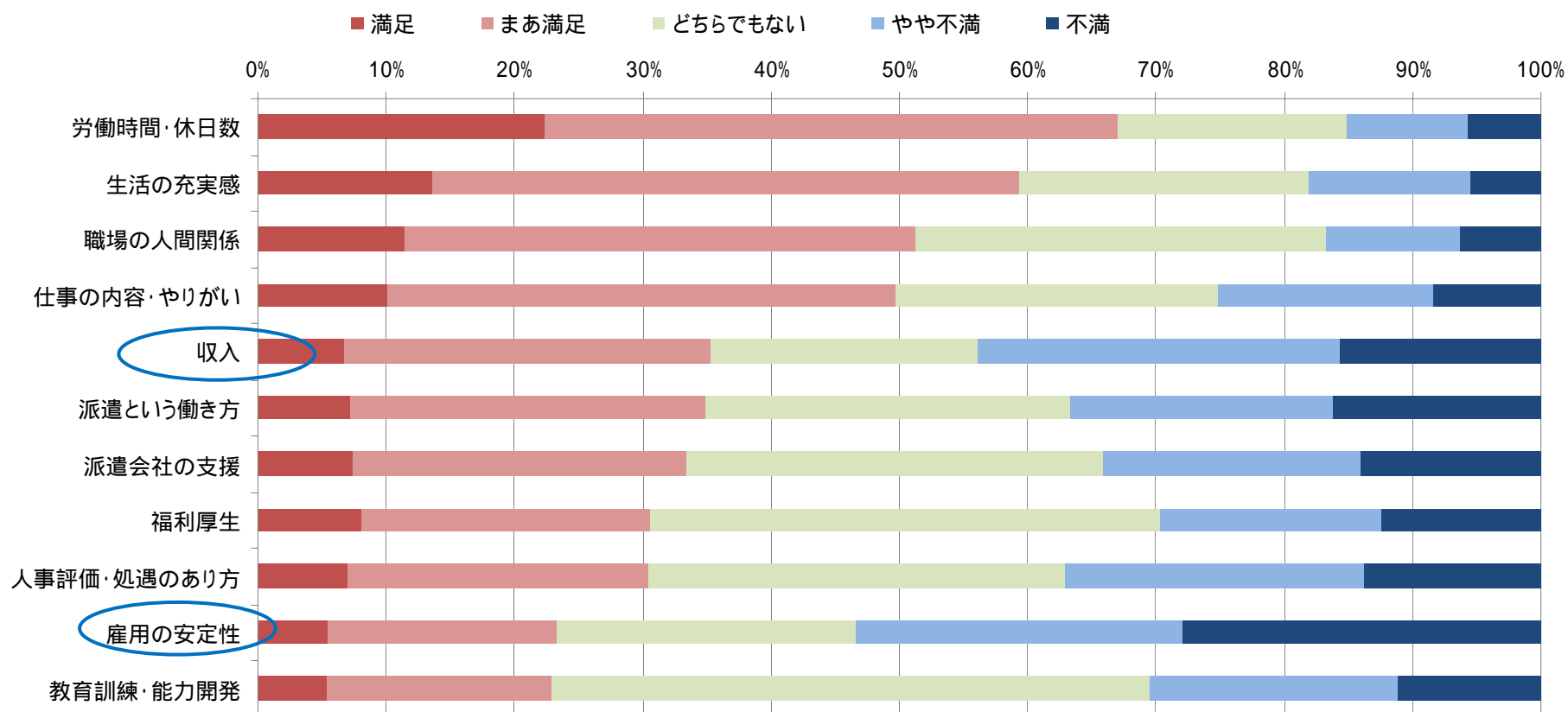
派遣で働き始めた理由

- プライベートとの両立のしやすさで派遣を選んでいるスタッフが多く、就業のしやすさ、賃金の高さも上位
- 一方で、教育研修や勤務評価については派遣就業時にはあまり考慮されていない



派遣で働くことへの満足度

- ワークライフバランス的な要素では満足度が高く、収入や雇用の安定性に対する不満が多い。



キャリアに関する希望

- 将来就きたい仕事や目指したいキャリアがないというのは、「やり方がわからない」ということが主な原因。
- キャリア形成は派遣先の仕事を通じて実現できると思う者が圧倒的に多い

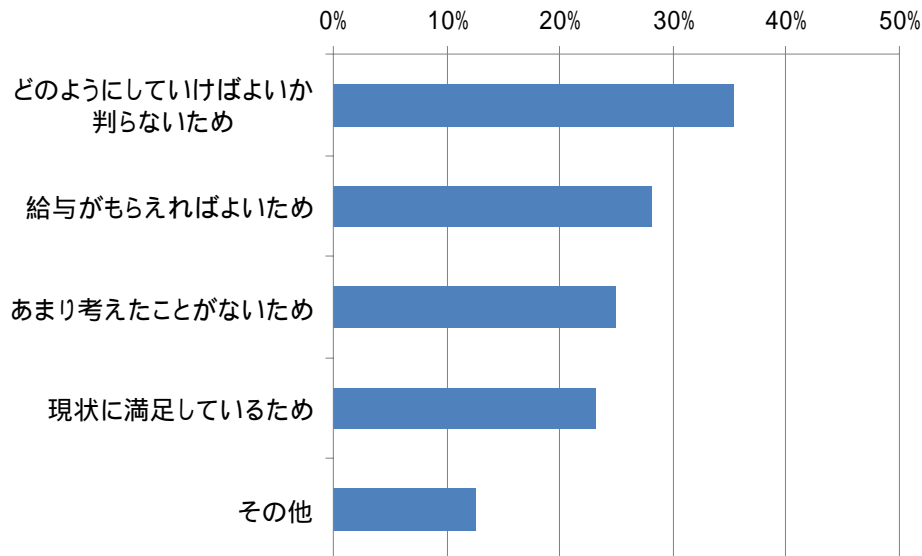
Q 将来、つきたい仕事や目指したいキャリアがありますか？

はい 61.0%

いいえ 39.0%



Q 将来つきたい仕事やキャリアに関する希望がないのはなぜですか？



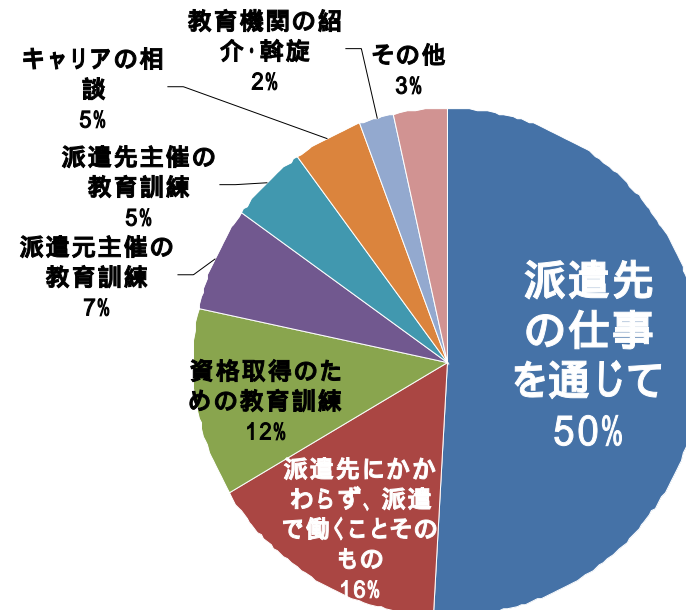
Q 「派遣就業を継続することは、将来つきたい仕事やキャリアの実現に役立つと思いますか？

はい 55.8%

いいえ 44.2%



Q (将来つきたい仕事やキャリアの実現に) 最も役立つと思うのはどれですか？



キャリアに関する希望

- 「働ける限り派遣で働きたい」とする派遣スタッフが44.2%
- 派遣を「期間限定の働き方」とする派遣スタッフは29.0%
(そのうち52.1%がその後の働き方として「正社員就業」を希望、15.1%が「派遣就業」を希望している)

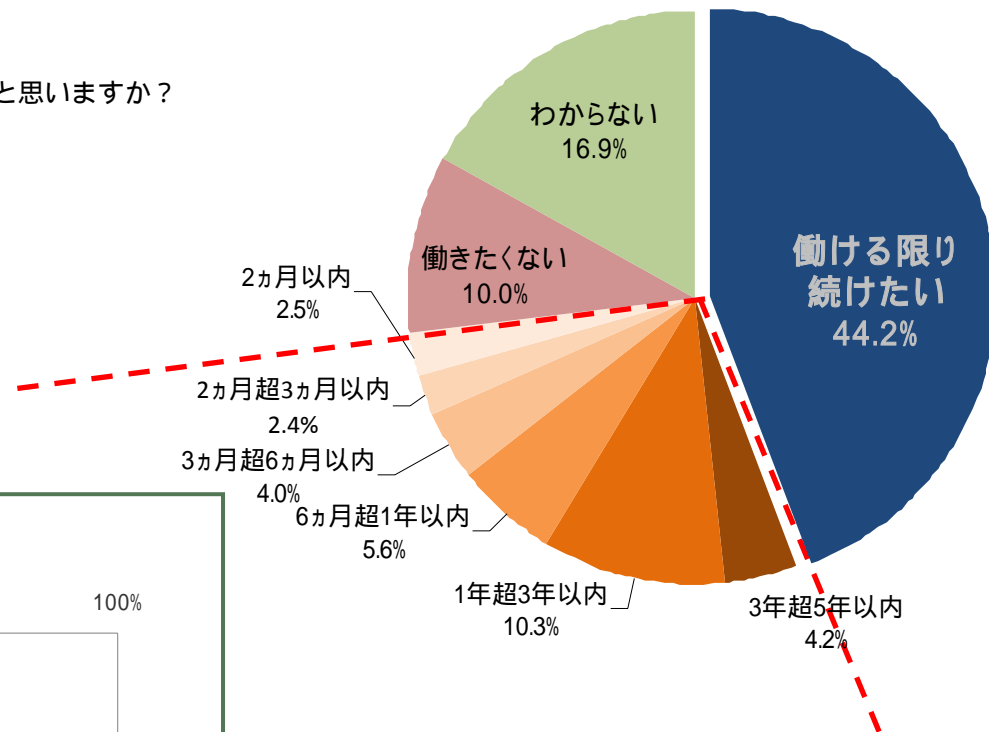
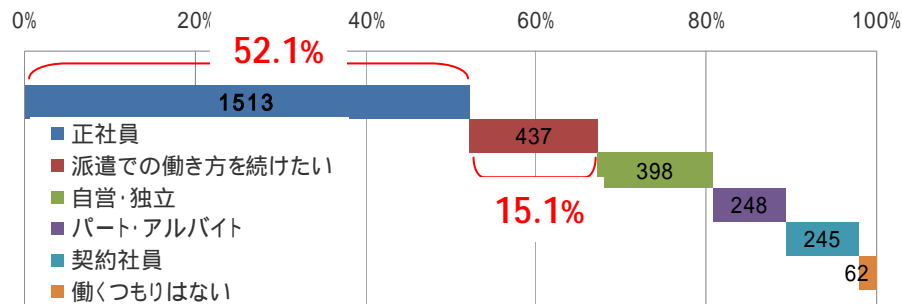
Q 派遣先の数に関係なく、どのくらいまで派遣で働きたいと思いますか？

派遣を「5年以内までの期間限定の働き方」と考えているスタッフ

29.0%



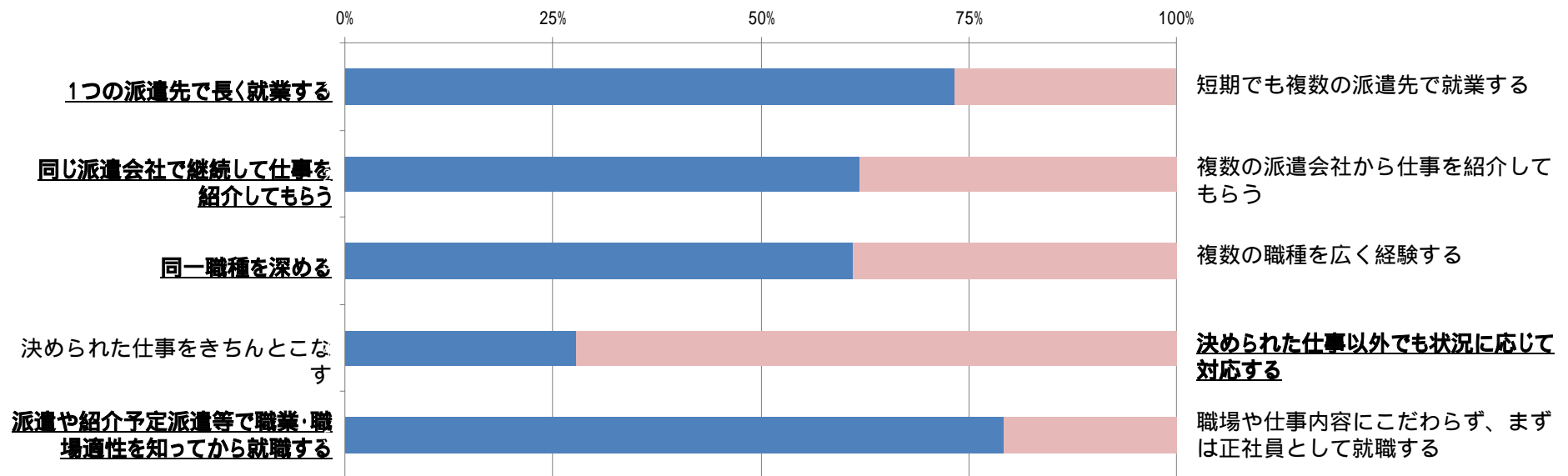
Q 派遣で働いたあとはどのような働き方を望みますか？



キャリアについての考え方

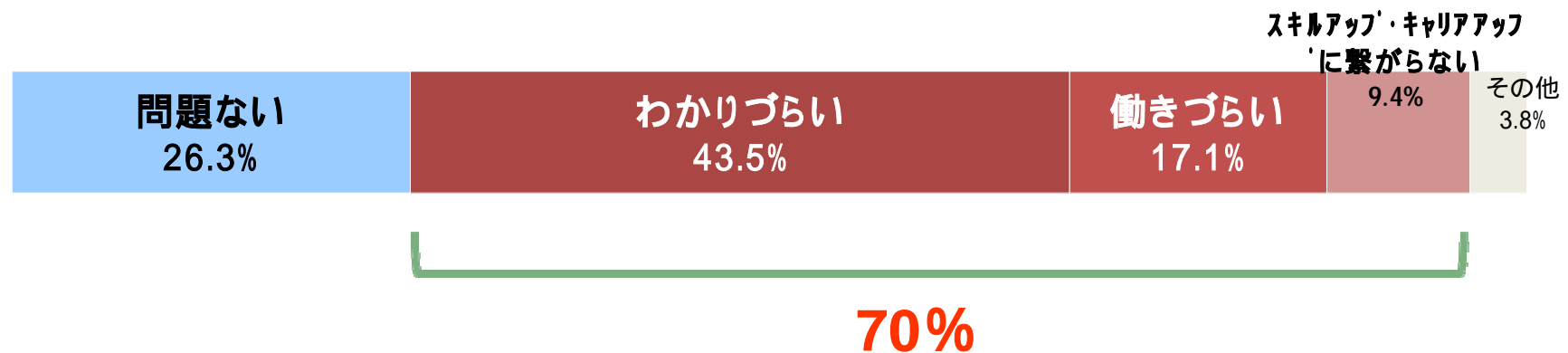
- 継続して就業すること、同一職種を深めながらも臨機応変に様々な仕事に対応すること、そして紹介予定派遣の活用などがキャリア形成の実現に有効である、と派遣スタッフは考えている。

Q. どちらの働き方が将来就きたい仕事やキャリアの実現により有効であると考えますか？



業務区分について

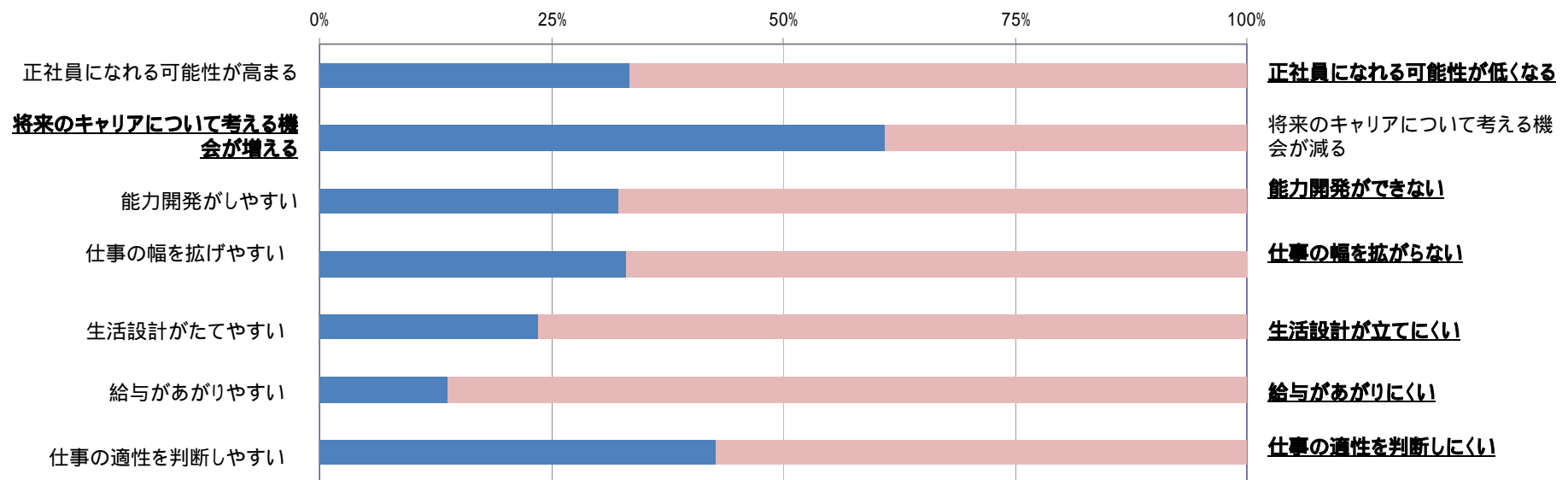
- 「専門26業務」のように業務区分が細かく定められていることについて、7割のスタッフが、「わかりづらい」「働きづらい」等、否定的に捉えている



キャリアについての考え方

- 同一派遣先での派遣就労の期間に上限を設けることは能力開発や待遇に関してマイナスになると捉えられている。
- 仕事の適性を見極めやキャリアについて考える機会になるという回答も比較的多くなっている。

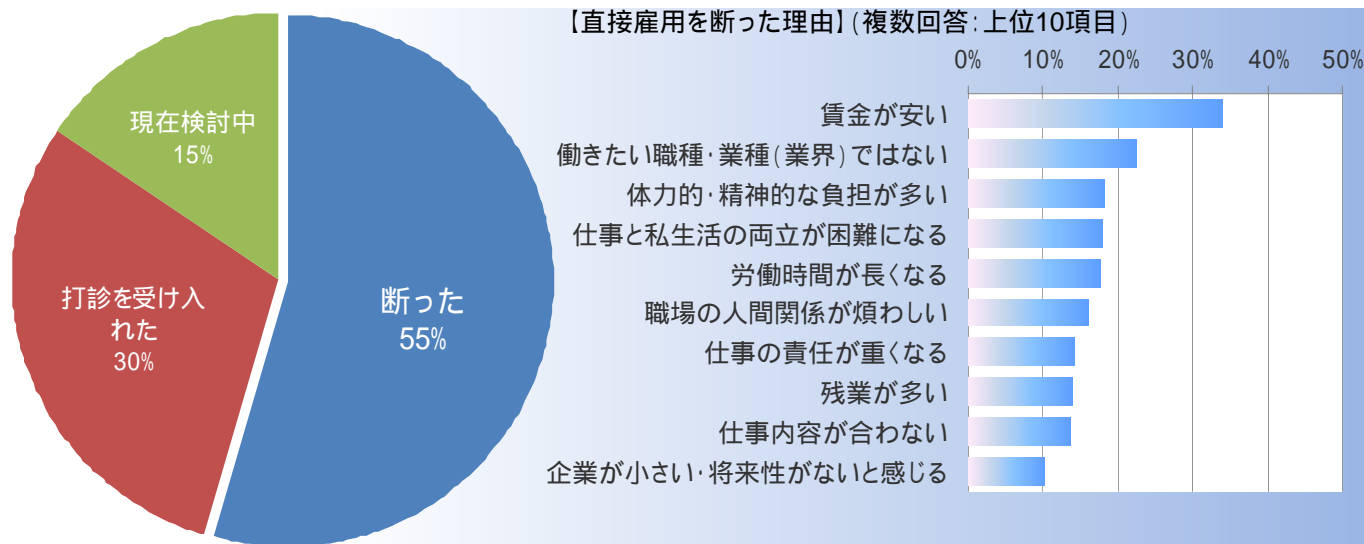
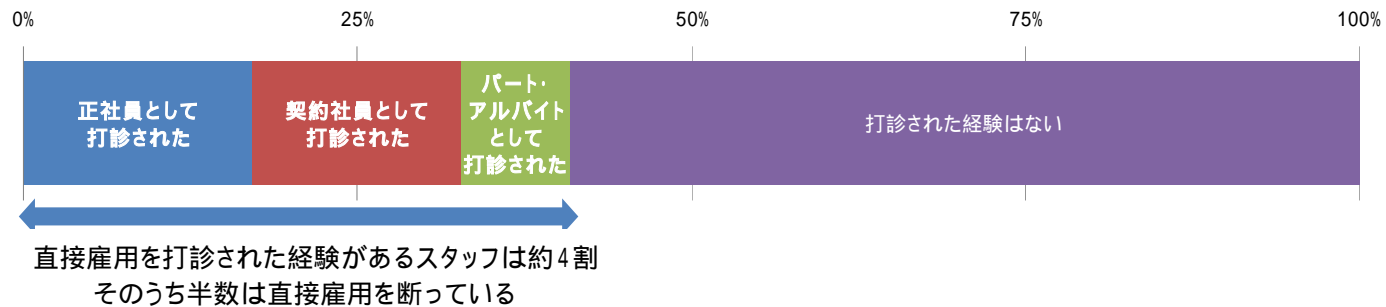
Q. ひとつの派遣先で派遣労働できる期間に上限があることについてあなたの考えに近いのはどちらですか？



派遣先からの直接雇用のオファー

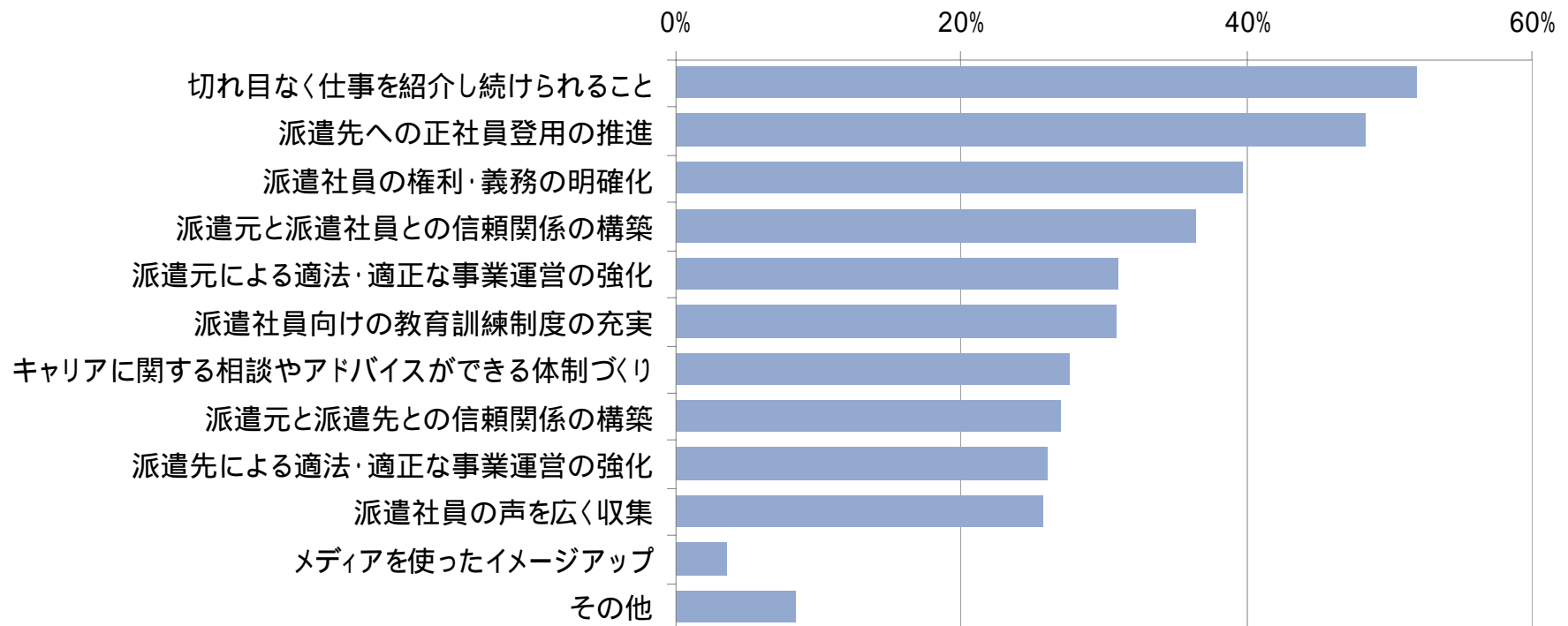
- 4割を超える派遣スタッフが派遣先から直接雇用を打診されながら、その半数はそれを断っている。
- 断る理由で最も多いのは「賃金が安い」こと。

Q これまでに現在の派遣先または過去に派遣された企業から直接雇用の打診を受けたことがありますか？



派遣業界に求めること

- 派遣スタッフの多くが「切れ目なく仕事を紹介すること」や「派遣先への正社員登用」など、自身の雇用の安定を派遣業界に対して求めている



「正社員希望者と派遣継続希望者の“派遣を選んだ理由”」

- 派遣継続希望者は、「仕事と私生活の両立がしやすい」、「働く期間・時間を自分で選べる」等のワークライフバランスを重視した理由のほか、「賃金が高い」、「職場の人間関係に拘束されない」といった回答が多い。
- 正社員希望者は「すぐに仕事に就けるため」、「就職活動のつなぎに働けるため」が多い。

Q. 最初に派遣で働き始めた時に、派遣を選んだ理由をお答えください。（複数回答）

	すぐに仕事に就けるため	仕事と私生活の両立がしやすいため	就職活動のつなぎに働けるため	働く期間・時間を自分で選べるため	賃金が高いため	職場の人間関係や組織に拘束されないため
A 派遣継続希望者(2)	31.8%	44.2%	8.3%	33.2%	22.0%	16.8%
B 正社員雇用希望者(1)	33.6%	30.4%	24.5%	24.1%	14.7%	9.2%
Pt 差 (A - B)	-1.8	13.8	-16.2	9.1	7.3	7.6

1) 「派遣で働いた後は正社員で働きたい」と回答した人(1157人)

2) 「派遣をできる限り続けたい」と回答した人(3148人)

「正社員希望者と派遣継続希望者の“派遣に対する満足度”」

- 派遣継続希望者は、正社員雇用規模者と比較して「生活充実度」「収入」「仕事の内容・やりがい」「雇用の安定性」に対する満足度が高い。

Q. 派遣で働くことへの満足度についてお選びください。

(「満足」:5点 「まあ満足」:4点 「どちらでもない」:3点 「やや不満」:2点 「不満」:1点でそれぞれ平均のポイントを算出)

	生活充実度	収入	仕事の内容・やりがい	教育訓練・能力開発	職場の人間関係	雇用の安定性
A 派遣継続希望者(2)	3.73pt	2.90pt	3.50pt	2.94pt	3.48pt	2.67pt
B 正社員雇用希望者(1)	3.47pt	2.62pt	3.19pt	2.90pt	3.52pt	2.40pt
Pt 差 (A - B)	0.26	0.28	0.31	0.04	-0.04	0.27

1) 「派遣で働いた後は正社員で働きたい」と回答した人(1157人)

2) 「派遣をできる限り続けたい」と回答した人(3148人)

「正社員希望者と派遣継続希望者の“派遣業界に求めること”」

- 正社員希望者の要望としてもっとも多いのは、「派遣先への正社員登用の推進」。
- 派遣継続希望者の要望では「切れ目なく仕事を紹介し続けること」、「派遣社員の権利義務の明確化」が多い。

Q. 現在の人材派遣業界において何が必要と思いますか？（複数回答）

	派遣先への 正社員登用の推進	切れ目なく仕事を 紹介し続けること	派遣社員の権利 義務の明確化	派遣社員向けの 教育訓練制度の充実
A 派遣継続 希望者(2)	47.0%	58.1%	42.9%	31.4%
B 正社員雇用 希望者(1)	61.5%	45.5%	36.1%	30.6%
Pt 差 (A - B)	-14.5	12.6	6.8	0.8

1) 「派遣で働いた後は正社員で働きたい」と回答した人(1157人)

2) 「派遣をできる限り続けたい」と回答した人(3148人)

「正社員希望者が“正社員を辞めた理由”」

- 正社員希望者のうち約7割が過去に正社員経験があるが、「体力的・精神的な負担が多い」「私生活との両立が困難」という理由で、正社員を辞めている場合が多い。

Q. 正社員勤務をやめた理由をお答えください。(複数回答)

「派遣で働いた後は正社員で働きたい」と回答した人のうち、「派遣で働く前に正社員で就業していた人」(845人)の回答(上位5項目)

1. 体力的・精神的な負担が多かったため	33.3%
2. 仕事と私生活の両立が困難だったため	25.4%
3. 労働時間が長かったため	25.0%
4. 残業が多かったため	24.5%
5. その他(リストラ、等)	22.5%



短時間正社員や職務限定正社員などの受け皿の拡充が必要

(2012年 日本人材派遣協会「派遣スタッフWEBアンケート」より)

「正社員雇用を打診される人の特性」

- 正社員としての直接雇用を打診される人は、「比較的高度な業務に携わり、より多く派遣の経験を積んでいる」傾向にある。

【正社員として直接雇用を打診されたことがある人】

81ヶ月

通算派遣就業期間*
(平均)

4ヶ所

派遣先件数
(平均)

基礎的業務 44.0%

専門的業務 48.7%

就業職種
(上位30職種)

1513円

平均時給

【直接雇用(正社員、契約社員、パート・アルバイト)の打診をされた経験がない人】

63ヶ月

3ヶ所

基礎的業務 54.6%

専門的業務 38.7%

1407円

*派遣会社数に関係なく、派遣で働いた通算経験月数

基礎的業務…

OA事務、データ入力(キー入力のみ)、PCオペレーター、庶務事務、その他オフィス業務、金融業務(窓口・接客等の業務)、倉庫内作業、製造(ライン業務)、その他製造・軽作業業務

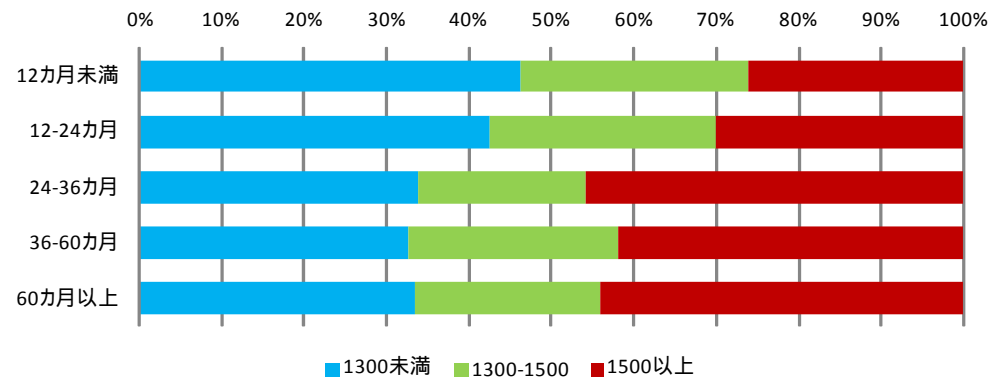
専門的業務…

営業事務(国内取引文書作成)、財務処理、貿易・国際業務、秘書、機械設計(CADオペレーター等)、テレマーケティングの営業、その他営業・販売・サービス業務、OAインストラクター、その他IT技術・通信系業務、受付・案内、通訳、翻訳、速記、英文事務、WEB作成、システムエンジニア・プログラマー、ソフトウェア開発、専門的文書ファイリング(単純な書類の整理は含まず)、資産運用提案業務、制作・編集・校正、金融事務(融資・為替等の後方事務)、オンライン取引コールセンター業務、研究開発、証券営業、ネットワーク構築、DTPデザイン、WEBデザイン、その他クリエイティブ業務、デモンストレーション(高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)、インテリアコーディネータ、その他専門職、セールスエンジニアの営業、医療事務、広告デザイン、医療関連業務、CGデザイン、製造(生産管理・品質管理等)、介護・福祉関連業務、市場調査、建築設備運転、点検、整備、事業の実施体制の企画、立案、放送関連業務、看護関連業務、駐車場管理等

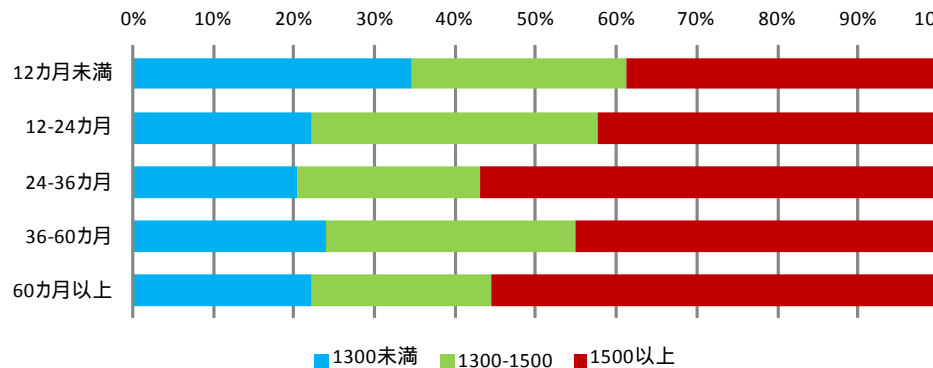
「派遣期間と賃金の関係」

- 派遣先1社あたりの通算派遣就業期間と時給の関係をみると、高時給の割合が多いのは通算派遣就業期間が2年～3年であり、それより期間が長くなると、低時給の割合がやや増える。
- 26業務については、5年を超えた層で高時給の割合が再び多くなっている。

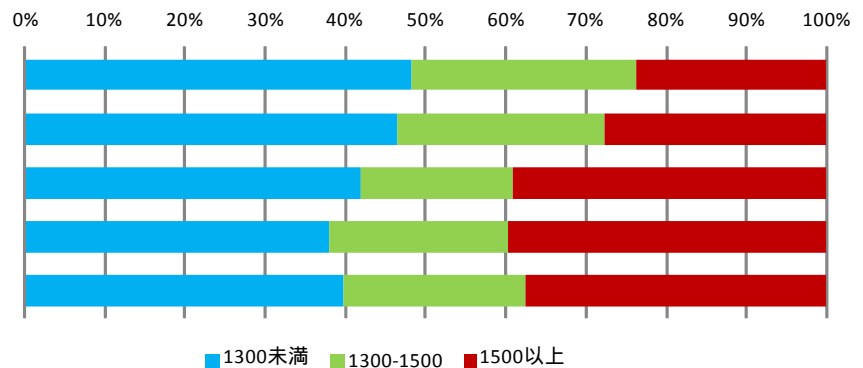
全体



26業務



26業務以外



まとめ

- ワークライフバランスの点で、派遣という雇用形態が選ばれている
- 法令上の業務区分はスタッフからも「わかりづらい」という声が多い
- 派遣スタッフはOJTを通じたキャリア形成を重視しており、派遣先でのOJTのサポートと、キャリアカウンセリングが今後の派遣業界の課題
- スタッフの半数は「派遣で働き続けたい」と思っておりこのニーズをサポートする仕組みが必要
- 派遣就業を正社員になるためのステップングストーンとして位置づけ、正社員化を望む声も強く、業界として真摯に取り組む必要がある